

# ★神戸の催し物ご案内

## 5月

### △音楽Ⅴ

- ★町田義人  
2日(水) 6時 神戸文化大ホ  
ル S・二〇〇〇円 A・一七〇  
〇円
- ★南(うせ)  
5日(祝) 6時 神戸国際会館  
A・二八〇〇円 B・二五〇〇円
- ★第25回神戸市吹奏楽祭  
5日(祝) 10時 神戸文化大ホ  
ル 無料
- ★土曜コンサート  
近藤日佐子ジョイントリサイタル  
5日(祝) 6時半 県民小劇場  
一〇〇〇円

- ★親和女子大学華曲部定期演奏会  
8日(火) 6時 神戸文化大ホ  
ル 三〇〇〇円
- ★関西学生吹奏楽連盟合同演奏会  
12日(土) 7時 神戸文化大ホ  
ル 四〇〇〇円
- ★神戸女子薬科大学ギターマンドリ  
ンクラブ定期演奏会  
13日(日) 1時半 神戸文化大ホ  
ル 五〇〇〇円

- ★サザン・オールスターズ  
14日(日) 6時半 姫路市民会館  
A・二〇〇〇円 B・一七〇〇円
- ★土曜コンサート／松下博江、服部  
典枝ジョイントリサイタル  
14日(日) 6時半 県民小劇場  
一〇〇〇円

- ★朝比奈隆指揮  
大阪フィルハーモニー交響楽団  
大阪フィルハーモニー交響楽団



朝比奈 隆

- 17日(水) 6時半 神戸文化大ホ  
ル 一階席 二二〇〇〇円 二階  
席 二五〇〇円
- ★ヴァイオリン／パツラフ・フデ  
チャコク
- ★五木ひろし  
18日(金) ①3時 ②6時半 神  
戸国際会館 五〇〇〇円

### ★柳ジョージ&レイニー・ウッド

- 19日(土) 2時半 姫路市民会館  
20日(日) 2時 神戸国際会館  
A・一八〇〇円 B・一五〇〇円
- ★芦屋交響楽団第13回定期演奏会  
19日(土) 7時 神戸文化大ホ  
ル 一八〇〇円

### ★森進一



森 進一

- 24日(木) ①2時 ②6時半 神  
戸国際会館 民音／会員・二六〇  
〇円

### ★渡辺真知子

- 25日(金) 6時半 神戸国際会館  
S・二二〇〇円 A・二〇〇〇円  
B・一七〇〇円

### ★朱里エイコディナショー

- 25日(金) ①4時 ②8時 オリ  
エンタルホテル 一六〇〇〇円

### ★岩本敏子、山村弘三ジョイントリサ イタル

- 25日(金) 7時 県民小劇場  
一二〇〇〇円

### ★関晴子ピアノリサイタル



関 晴子

- 25日(金) 6時半 芦屋ルナホ  
ル 前売／一三〇〇円 高校生以  
下 一〇〇〇円

### ★神戸女声合唱団10周年リサイタル

- 26日(土) 2時 神戸文化大ホ  
ル 六〇〇〇円

### ★館ひろし

- 29日(火) 6時半 神戸文化中ホ  
ール A・二二〇〇円 B・一九  
〇〇円

### ★森田公一とトップギャラン

- 31日(木) 6時半 神戸文化中ホ  
ール



トップギャラン

- 1日(木) S・三〇〇〇円 A・二五  
〇〇円

### ★布施明

- 6月5日(火) ①2時 ②6時  
神戸国際会館 S・三九〇〇円  
A・三〇〇〇円

### ★ユストゥス・フランツ

- 6月6日(水) 7時 神戸文化中  
ホール A・三〇〇〇円 B・二  
五〇〇円 C・二〇〇〇円

### △演劇Ⅳ

- ★劇団四季「青い鳥」  
7日(月) 6時 神戸国際会館

### ★青年座「欲望という名の電車」

- 19日(水) ①18日(名) 6時15分  
20日(土) ①1時半 ②6時15分  
19日(土) ①1時半 神戸文化中ホ  
ール 神戸労演／一九〇〇円

### ★オベラ小劇場「こんにゃく座」

- 19日(土) 6時 尼崎ピッコロシ  
アター 二八〇〇円

### ★市民映画劇場「炎のマリア」

- 17日(木) 18日(金) 6時半  
19日(土) 2時 神戸文化小ホ  
ル 四九九円

### ★五月大歌舞伎

- 28日(月) 29日(火) ①1時 ②  
6時 S・三八〇〇円 A・二三  
〇〇円 B・一五〇〇円



中村勘三郎

### ●愛読者招待席

神戸っ子読者を左記の催物にご招  
待致します。各10名様。

- ★柳ジョージとレイニー・ウッド  
5月19日(土) 2時半 姫路市民  
会館
- 5月20日(日) 2時 神戸国際会  
館
- ★森田公一とトップギャラン  
5月31日(木) 6時半 神戸文化  
中ホール
- ★布施明  
6月5日(火) ①2時 ②6時  
神戸国際会館
- ★八神純子  
6月15日(金) 6時半 神戸文化  
大ホール

ご希望の方は葉書に住所・氏名・  
年令・職業を明記の上、神戸っ子  
編集部「柳ジョージ・姫路」

「柳ジョージ・神戸」「トップギャラ  
ン」「布施明・2時」「布施明・  
6時」「八神純子」の係まで。

### ●愛読者優待席

神戸っ子読者に左記のステージを  
割引優待致します。

- ★オベラ小劇場「こんにゃく座」  
「白墨の輪」  
5月19日(土) 6時 尼崎ピッコ  
ロシアター 二八〇〇円を一割引
- ★井上和世フランス歌曲独唱会  
5月29日(火) 7時 大阪厚生年  
会会館中ホール 一五〇〇円を一  
割引
- ★ユストゥス・フランツ  
ピアノ演奏会  
6月6日(水) 7時 神戸文化中  
ホール
- A・三〇〇〇円 B・二五〇〇円  
C・二〇〇〇円をそれぞれ一割引
- ★井上直幸ピアノリサイタル  
7月4日(水) 7時 神戸文化中  
ホール
- A・二〇〇〇円 B・一五〇〇円  
C・一〇〇〇円をそれぞれ一割引

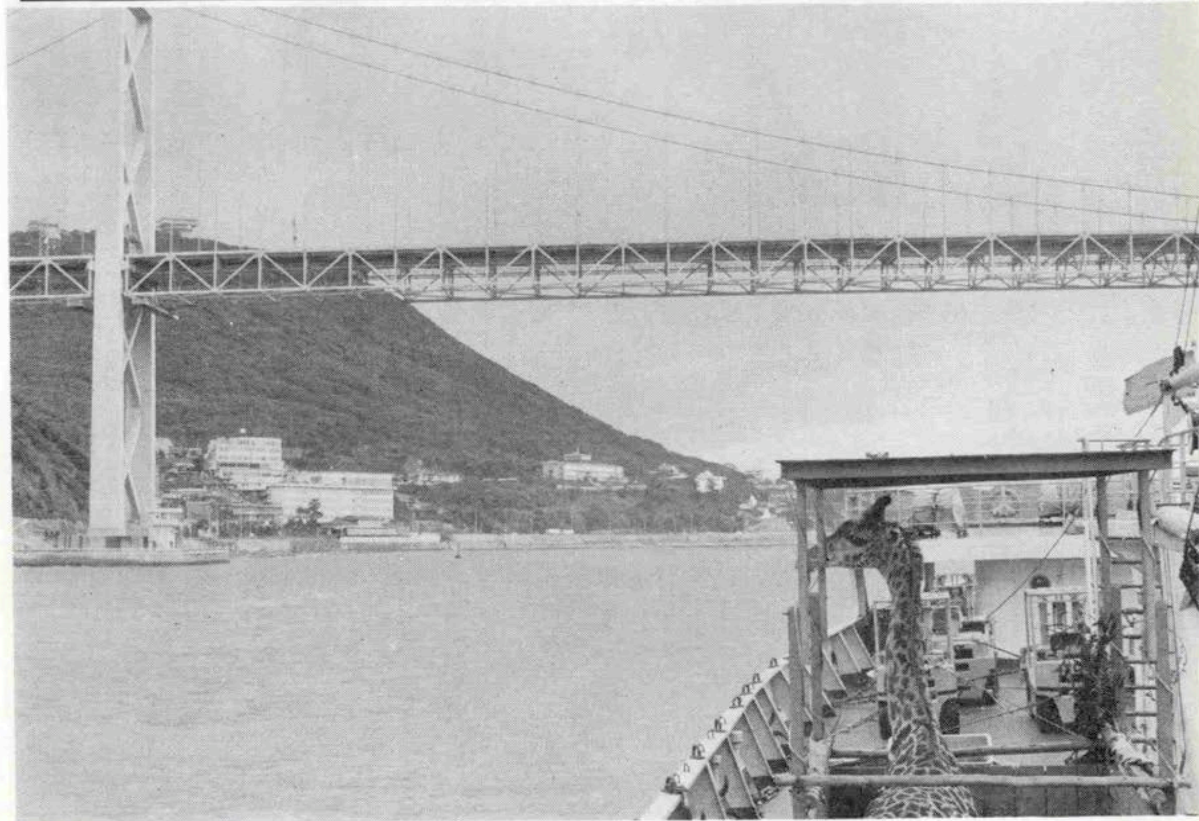
ご希望の方は電話か葉書で神戸っ  
子編集部・優待係へ川崎Vまで



動物園飼育日記 — 152 — 亀井一成



旅立ったコリンらはいま!

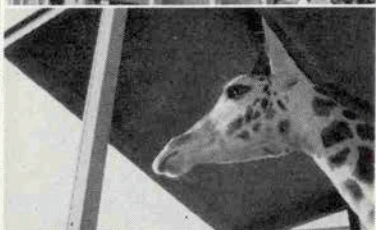


つい先日、また二頭のコリンが、狭い檻に押し込まれ、動物園を旅立って行った。

オス長男とメスみね子。きり子。高子。こづえ。どの間に毎年2/3頭の子供キリンが誕生しているの、2年もするとすぐ10頭以上の家族になってしまい、3室の寝部屋では肢の踏み場もない位に狭く身体を寄せあって寝ころがっている。

へえ、キリンが寝ころがりますか！

「馬は立って眠る」といういい伝えを知識にしていた私自身もそう信じていた。だから27年前初めてキリンを迎えたその深夜「えらいことや、キリンが座ってしまつた。なんとか手当をしてやらなくては」と、園長宅にまで電話連絡、すぐキリン舎へ駆け戻って、さらにびっく



コリンという名のキリンではなく、コリンとは小さな子供キリンのことです。ウソみたいなホントの話。

り、さっきまで病気のはずだったキリンが立ちあがって餌をまさぐっているじゃありませんか、しもた、真夜中に心配顔の園長がすつとんでくるというのに。

「オイ亀井君、しつかり見ろよ！」と叱り飛ばされると思う一方、なるほど、落着いて考えようとキリンも、シマウマもサイもあやまって眠るんや、やっぱり座った方が、休まるんや。ついでのことと、しのび足で園内を一巡した園長「ええとこ見せて貰ったなあ！」お尻のこそばくなった思い出である。

そんな足長のキリンが狭い部屋で身体を寄せあい、座りこんでいるさなか、突然カミナリや爆発音がしたら、どうなるか。警戒心の強い成獣たちは反射的に跳ね上り、走り出し、幾度か小さな子供キリンは踏んづけられそうになった。それどころか、1トン近くの成獣に運悪く胸から背を踏みつけられた仔が、圧死するという、悲しい事件がかつてとうとう現実起こってしまったのである。

#### 【コリン旅立ちの手紙から】

「かわいそうやなあ、なんでよそに連れて行ってしまらんや」

積みこまれたトラックにかけ寄ってきた多くの学童たちの声が耳にささってきた。できることなら、どの子も区別なく、ずつと置いてやりたいと、どれほど努力したかわかりません。しかし、限られたオリの中では、ある数より増えたと親に踏まれたり、仲間どうしはては親子が争ったりという、思いがけないトラブルで死亡するという、不思議な「自然淘汰」が起こってくるのです。これは決して言い訳ではないのです。

さらに野生動物の保護育成という、動物園のもつ使命からも、他の動物園に送り出すことは近親交配をさげ繁殖させることにたいへん役立つのです。

それにしても、家族から離された彼等の寂しさは、人間である我々の知るすべもありません。

神戸と中国の天津は姉妹都市。天津の動物園に第一便



としてオスの子供キリンを親善使節として園長と私の二人がつきそい、神戸港を昭和51年7月16日出発しました。

ところが、神戸港を出てまもなく、不運にも台風に出会い、3日間で着く予定が8日間もかかり、用意したエサが、足りなくなるハブニングが起こったのです。

真暗やみのデッキで独りぼっち、ひたすら人間の私たちに首をすり寄せてきたこと。

木の葉を食べてしまった小枝を海上に捨てないで船倉に片づけていたのが幸いでした。枯れかかったその枝を水につけ、皮をむいて食べさせ、元気をとり戻させたこと。

やっとのこと見知らぬ中国の地、天津水上動物園に着、いよいよキリン舎に放そうとしたとき、私たちはおどろきました。天井にシャンデリヤが輝き電動扉（当時日本でキリン舎の電動扉はなかった）というまるで御殿のような飼育舎だったからです。

さらにまた、初めて見る人達やキリン舎に落着けないこのキリンのために、どうか私の残っている、この作業服を着て頂けないものと、作業服や長靴をさしだせば、ほんとに心よく着て下さったこと。

たとえ中国語は話せなくても、不安げなキリンへの思いやりが同じだったこと。胸がジーンと熱くなりました。

さらに、中国各地の動物園視察のため、いよいよ、キリンを残し、天津市を去る最後の日、やっばり最後の面会にいったりしました。

そのとき、私はせいっぱいコリン、コリンさようなら、さようなら、コリン頑張るんや、と大声をあげていました。

## 【コリンという名のキリン】



どのコリンも幸せになあれ

コリン、誰が名づけたのだろう。それは動物園では最も大切な「お客さま」学童たちだったのです。あつ、また赤ん坊キリンが生まれている。毎日のように来て下さっている動物園周辺の学童たち。誰いうことなく、可愛いなあ、小さいなあ、そうや、小さいキリンだから「コリンや、」その名づけ親である学童もいまはもう中学生に進学したことだろう。

そのコリン、私との最後をさつたのだろう。一生懸命、金網に身体をすり寄せ、さかんにせりあがろうと首を伸ばしてきたこと、今も忘れることができません。

コリンだけだった独り、その後どうなったのだろう。ご安心下さい。その翌年、同じくメスのコリンが第二便として旅立ったのです。そして、第一便のコリン以来三年の歳月が流れ生後4才を迎えているはず。満4才で性成熟に達するキリンは、もはやコリンではなくなっているにちがいない。いや、ひよつとしたら、「小さな、かわいいキリンの子が誕生しました。」というビッグニュースが、とびこんでくるかも知れない。

中国へ行ってから名づけて頂こうと、名前なしの子供キリンに、寄り集まった学童のひとり、が、「小さいからコリンや、」と大声で呼んで下さった。そのコリンが中国で成獣になって、コリンを産む。なんとすばらしいことだろう。

コリンとコリンがおとなのキリンになってコリンを産む。そのコリンがまたおとなキリンになってコリンを産むんや、いや、旅立ったどのコリンもコリンを産むんや、

△王子動物園学芸員／写真も△

明日の地球社会のために  
知的創造性を発揮する  
企業人を育成

専攻科

英会話科、 旅行主任科  
貿易実務科

特別講座

各種経営セミナー、貿易実務セミナー  
ファッションビジネスセミナー  
国際コミュニケーションセミナー



KOBE INTERNATIONAL BUSINESS ACADEMY  
神戸国際ビジネス学院

神戸市灘区琴緒町5丁目7番地  
グリーンシャポービル7F

TEL (078) 242-7267

貸会議室、貸教室の設備も利用できます。  
お問い合わせは ☎ (078) 242-5178

ひとつひとつにまごころを  
こめて焼きあげたクッキー



¥800～¥3,000

北 欧 の 銘 菓

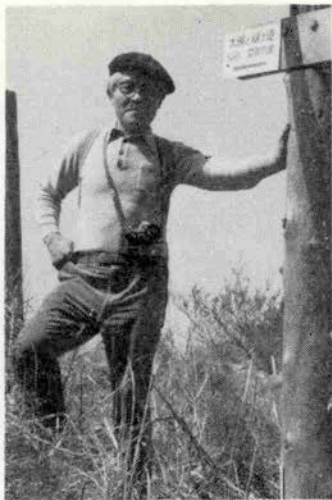
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市灘区熊内町1-8(南蛮美術館東隣) TEL 221-1164  
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸デパート・元町店

地下鉄名谷駅(バス) 太山寺―仏谷洞くつ―木見―神鉄木幡

# 山を撮りつづけて半世紀

藤田 重夫△写真家▽



仏谷洞くつへの道にて

私は、野の草とか花とかを写しているうちに、だんだんと山に魅せられて、写真を撮るために山へ入った。それで、もう、五十年になるわけです。

当時は望遠レンズがなかった。グラフィックスという大きな箱型のイーストマンコダックが割とよかったので、それを使っていました。これは腰を掛けられるほど大きかった。普通は九〇ミリがついているが、三〇〇ミリの交換レンズがある。しかし、今の望遠レンズじゃなくて、長焦点のレンズだからあまり引っ張れない。ですから、山を写すためにどんどんと山へ入り、冬、入ろうとするとスキーもしないといけないということになったわけです。

学生時代でも暗箱をついで山を歩いたことがある。神鍋あたりに行くとき冬の景色がとてもキレイですが、暗箱だとキャビネ判だから、そのままガチッと映せるし、

あおりが利く。普通に崖を下から映すと這っている感じだが、あおりが利くと立体感が出ます。

全国の山は殆んど歩いていますが、特に立山あたりがホームグラウンドです。上高地から唐沢あたり、穂高、剣へもよく行きました。

私は「天気男」なんです。私が山へ行ったら絶対に天気なんです。雨に降られたことがない。ところが、写真には快晴よりも曇った方が面白いときがある。晴よりも曇りがあり、雨があつた方がいい。

六甲山はちよつと写真になりにくい。女性的で起伏がなく、やわらかい感じで、しかも、広いので、何か近景をグッと入れてまとめると写真になるが、どうしても、のんびりとしてしまう。夕景、それも明石海峡に落ちる夕陽が見えるところで写したら素晴らしいものが出る。

昔、六甲に登っていた頃は、冬はどこの池でもスケートが出来たし、スキーも年に十回ぐらいはやれた。阪急六甲まで滑って下りたこともありましたよ。

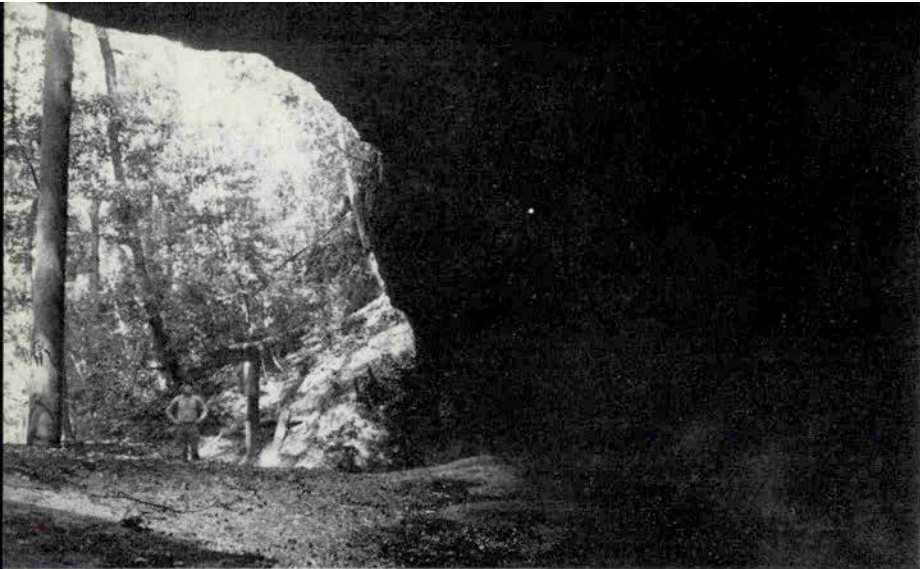
六甲山は霧をうまく利用したら面白い写真が撮れると思いますね。霧の走っているときに、晴れ間を見て撮る。霧がフィルタになって、遠いものでもグッと近くに來たりね、そう見えるときがある。霧の晴れ間を利用して写すと素晴らしいものが出て来ると思いますよ。

今日のコースは、四年ぐら前に神戸市のグリーンパトロールで一年間、月に一回以上歩いていました。そのときは茨や雑草を刈ったり、ゴミの後片づけをやった。

当時は、国鉄新長田駅から太山寺までバスが来ていたが地下鉄が出来てからバスは名谷から出ています。

さて、このコースで写真になるのは、まず太山寺。このあたりにある石仏を捜して歩けば面白い。磨崖仏もあるし、古い石仏もあるし、光線さえ考えれば四季を通じて面白い写真が撮れますよ。

全体を撮るとなると、遠くから離れて、山をバックに入れて撮る。転法輪寺（太山寺の南で「太陽と緑の道」沿いにある）へ行く途中から田圃を隔てて見た感じが割



神秘的な仏谷洞くつ内から外をのぞむ

といいですね。絵ハガキ的なものになります。

それと仏谷洞くつ。太陽がトップライトのときは、背の高い杉木立から光線が斜めになって差し込んできて、時によれば年寄りの人が来て、そこらを掃除してゴミを燃やしているときがある。その煙が立ち込めると非常に深い感じがして、光がそつと入って来て、とてもキレイなときがあります。そういうときは写真になると思いますがね。仏谷池のあたりのクスギ林も写真になります。それと、今日は行かなかったのですが、川池のほとりの木津磨崖仏も写真の素材の一つですね。

（仏谷洞くつは、間口二十五米、奥行十五米、高さ三米の岩（礫岩）のヒサシで、木が繁り一年中直射日光が差しこまない。洞くつの前の石像や石仏は神道系のサイの神や仏教系のもので、平安時代に盛んになった山岳信教がここに残っていたと見られる）

太山寺を起点に尾根道を歩いたのですが、尾根はあまり見晴しがきかないし、写真にはならない。しかし、ここらには、コメツツジと呼んでいます、小さな白い花の咲くツツジやモチツツジという大きな花の咲くツツジがあります。ツツジのトンネルや落葉の季節には光線の具合で面白い写真になりますね。

このコースは、新緑のときには新芽を通した太陽の光が非常に清々しいし、緑が空の青に冴えて美しい。また秋には落葉樹の葉が散り敷いて、歩いていてもカサカサといった感じがとても楽しい、いいコースです。（談）



ロープウェイ奥摩耶山上駅—元摩耶道—熊内八幡

# ビバ、ビバ、六甲！

上月 倫子△上月倫子バレエ研究所主宰▽



東山にて筆者

うららかな陽差しを浴びて椿の花は真紅に咲き乱れ、折り重なる落葉の下陰に、かわい山すみれの花が薄紫色の顔をのぞかせ、静寂の中にうぐいすの声も心地よく耳に届いて「元摩耶道」は今、春の息吹きに満ち溢れていました。

慣れない山歩きのお誘いに一度はご辞退申しあげた私でしたが、ようやく出かけたそのわずかな時間が、こんなにも私の心を豊かにしてくれるなど……。自然を思う気持は人一倍強いくせに、生来の出不精癖や現在の生活環境などにまぎれて、これまで山とは凡そ縁遠かった私ですが、再度のお誘いを受け、ついにはその気にさせられて、桜前線いまま少しの頃、お休みを利用して出かけることになりました。行くのなら子供の頃から多少とも馴染みのある青谷道を、それも下りのコースを、とお願いしておきました。

いよいよ当日。雨でも降ればこの話も永久にお流れになるのではという秘かな願いを裏切って、何と本日快晴。「今日は絶好のハイキング日和です」と編集子。憎つくきかな？

ともかく予定通りに高尾駅からケーブルとロープウェイを使って奥摩耶山上へ直行。余程ラクなコースと見えてゆったりムードの編集子。隣で私はこの先何が起こることかといささか緊張の面持ち、普段はどうやらベテラン登山家の後について歩いているはずの彼、この日はかりは地図を片手に案内役とはお気の毒に。さて、先ずは山上からすぐの所にある天上寺へ。三年前に焼失以来、未だ復興ならず、ちよつと佻びしい気のある境内を抜けて石段を降りると、山門だけは昔のままに立派な構えを残しています。そこから大杉を右に見て更に下り、何処からともなく流れ始めた川を渡る頃、元氣な子供たちが妙な二人連れをチロツと横目に見て賑やかに通り過ぎて行きました。その哄笑が遠のくと、後には再びせせらぎの音。その音を伝って行者茶屋まで下りて行くと青谷道と元摩耶道の分岐点です。ここまで来て突然予定を変更、青谷道から少し西へ逸れて「元摩耶道」の方を歩くことになりました。こちらの道は青谷道より道幅も狭く、まだ冬の落葉がいっぱい残っており、平坦な道ばかりがほとんど続きます。どうかすると登ることの方が多し気もして、下るつもりの方はしばし当てはずれ。それに付けてもこの道、知る人も少ないらしく、日曜日というのに





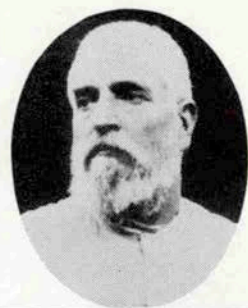
青谷川の上流にて

森閑として人っ子一人通っていません。遠くにそれらしき気配がするでもなく、木々のさざめきが聞かれるでもなく、空気が呼吸を忘れたようにただじっとして、手を打てば筈が幾重にも揺がっていきそうな。折りしも鶯がひと声“ホーホケキョ”ああ春、立ち止まって春の主を求める目に、今を盛りと咲き誇る椿の花。枯木の残る山々を背景に鮮やかに映えているその姿を見ては、やはり自然は自然の中にあつてこそそのもの本来の美しさがあり、最も光彩を放つのが道理に思え、自然礼讃ひとしきり。この辺り、道がなだらかな割には四方をすっかり山に囲まれて、まるで人跡未踏の深山幽谷にでも分け入った気分にとらわれます。こんな所にこんな所が、とその意外性に感激し、新たな発見でもしたような思いでこの“秘境”を味わいながら歩き続けます。そうこうするうちに急に視界が開けて次の分岐点にさしかかりました。



眼下に民家の屋根が見え、少し遠くへ目をやると、ひねもすのたりのたりかな——三宮のそのまた向うに陽光にきらめく春の海が。いつの間にか随分下って来ていたのです。ここは天狗道への学校林道と東山尾根を経て中尾町へ下る道。そしてこの元摩耶道との分かれ道です。道標に並んで証拠の写真をまた一枚。さてと再び出発。ところがどうでしょう、ここからの元摩耶道は今までの平和な道とは打って変わって大変な急勾配で下って行くのです。また山に隠れ、右を見ては断崖絶壁、懸命に歩かねばなりません。この時になって愚かなる私、山道は登りより下りが厳しいものであることを身を以って示めされたのであります。緊張のうちに黙々と歩くことしばし。やっと小高い丘に辿り着きました。これが最後の分岐点で、西山尾根と中尾谷へも抜けられます。ひと息ついて顔を上げるとポトアアイランドも近々と見え、ホッとすると同時に、ここまで来る間にいつしか山歩きの醍醐味にすっかり魅せられ、どっぷりと浸りきっていた私は、再びあの街中の雑踏に帰って行くことに嫌悪感を覚えていました。しかしここで夜明かしする訳にもいかず、いとも名残り惜し気に雷声寺まで下り、そして幼き日々の思い出多い熊内八幡に至って、この不案内な私の山歩きも終幕となりました。お疲れさま！

素晴らしい一日でした。



□神戸ガウディー展によせて

# 現代の手仕事とは

## 重村 力

△神戸大学工学部環境計画学科講師・神戸ガウディー展委員会幹事▽

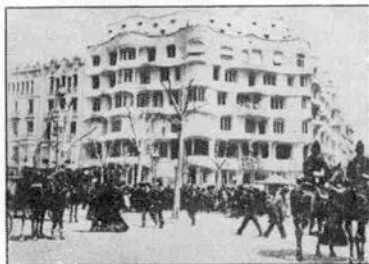
スペイン・カタルーニヤ地方の中心であり、地中海の重要な港町であるバルセロナの山の手には、4本の高い尖塔をもつ教会が聳え立っている。スペインは一般にカソリックの信仰が深く、そのことでは、このバルセロナの街も例外ではないのだが、この教会が、他の幾多の教会と大きく異なっているのは、その特異な形体において



カーサ・カルベットの腰掛け

## 神戸ガウディー展案内

会期 5月17日(木)～5月22日(火)  
会場 さんちかタウン、さんちか広場  
企画 ガウディー・オリジナル建築図面、模型、家具、写真など約300点の展示  
映画・講演またはシンポジウム  
主催 神戸ガウディー展委員会・ガウディー展委員会・さんちかタウン



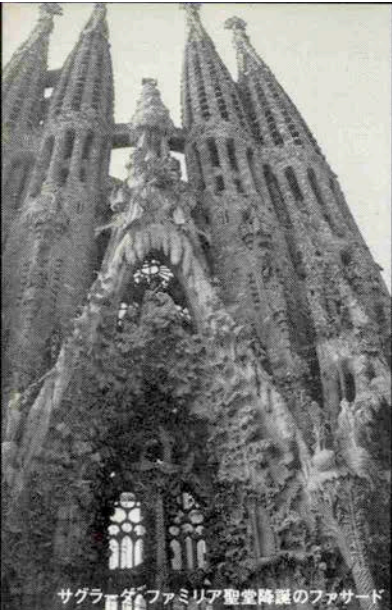
ガウディーの主要建築物のひとつ、カーサ・ミラは1906～1910に建てられた個人住宅。左頁のサグラダ・ファミリア聖堂は1883年から今も建築中である。

である。中世の建築様式であるゴシック様式のいくつかの形体的な特徴と似ている点をもっているとはいえ、それは根本的に異なっている。ある人はこの教会を「天に向かって落下している」と評したが、尖塔群は、まるで魔法の磁石によって天に向かって垂直に吸い寄せられているかのようにそそり立っている。威圧を感じさせるといふよりは、何かただならぬ力がそこを支配していることを、人々に感じさせるのである。

この建物を一層劇的にしているのはその細部や内部である。尖塔の上部をはじめとして、建物の細部の重要な部分は一つ一つ抽象的な彫刻造形としてとり出しても、十分に意味をもつ独特な形で構成され、原色の陶片モザイクで覆われて光を帯び、しかもそれらはバラバラに切り離されて存在しているのではなく、有機的に統一された旋律の中に位置づけられている。

建物の内部は、この大伽藍を支える柱がまるで生命をもった樹木の幹のように力の法則に沿って幾本もの枝をはり、ステンドグラスからさしこむ多彩の透過光線があやなす中で、幻想の森のような世界をつくり出している。

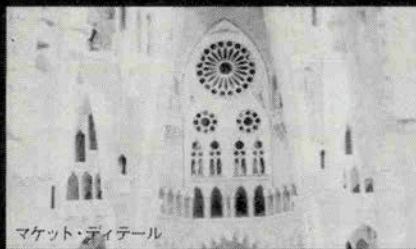
この教会が、アントニオ・ガウディー(一八五二～一九二六)の代表作であるサグラダ・ファミリア(聖家族)教会である。この建築の構成はもろろの時代の建築の常識からみても、きわめて奔放で独特なものであるが、きわめて合理的で現代的な側面をもっており、こ



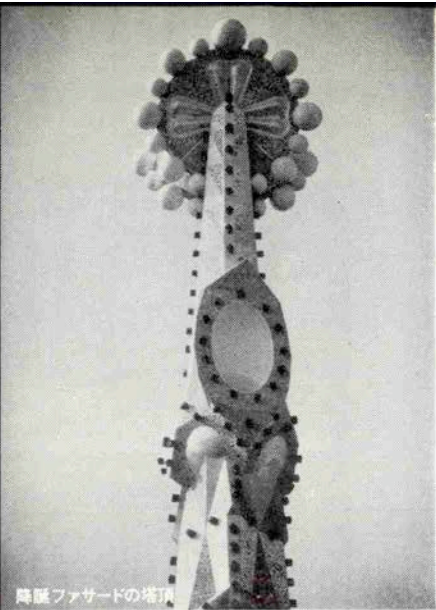
サグラダ・ファミリア聖堂降誕のファサード



ルビオーによるドロ・イェンク



マケット・ディテール



降誕ファサードの塔頂

の表現的でありながら合理的な独特な構造も、その一つとして指摘できるものである。

グエル伯爵などの、有力な理解者を得て、バルセロナの近郊に数多くの作品を残したガウディは、一九二六年このサグラダ・ファミリア教会の建設中に、市電に轢かれて不運な死をとげたが、ガウディの死後も、この教会は宮々と建設が続けられ、今日もなおその工事がひきつがれている。一九三六年の、スペイン市民戦争においては、カソリック教会がフランコ側についたために、スペインの教会は、いくつも焼打ちを受けて破壊された時、このバルセロナのガウディの作品は、焼打ちを免れたというが、そのことはこの建築が職人や理解者をはじめとする地域の多くの人々によってすすめられている、その誠実で真摯な仕事のすすめ方と無関係ではあるまい。

ガウディの建築とその仕事ぶりをみる時、現代に生きる私達に多くのヒントを与えてくれていると見えないわけにはいかない。一つには、現代の工学技術と、職人的な手仕事の総合ともいえることであり、同時に生命力をもつ自然への想像力の同化の志向が、人為的な工学的な構築と対立するものではないことを、ガウディは人間愛の哲学によって私達に伝えてくれている。また、こうした創造が、地域の多くの人々の力によって、長い時間と労力とを費やして受け継がれ、造り続けられることによって、一つの独創的な創造が、個人の作品という範疇を超えて、地域それ自体の一部として、血肉として、生み出されることが可能であるということである。現代の神戸に生きる私達にとって、地域文化の創造のための重要な契機をすべく教示してくれているといえるであろう。

この度の神戸・ガウディ展の準備に際して、建築や地域計画の仕事に携わる私達が、出発した理由もその点にこそあり、ガウディの仕事は、私達と神戸に大きな啓示を残すことを信じるからに他ならない。

● 赤坂ホテル・オークラで披露パーティ

## 華やかに日本真珠振興会の 広報委員会がスタート



(上) 日本真珠振興会総会であいさつをする田崎俊作田崎真珠社長 (下) 祝賀会で乾杯の音頭をとる石井一衆院議員

日本真珠振興会に広報委員会が設置され、その披露パーティが、3月16日(金)午後6時より赤坂のホテルオークラで開催された。

これは、従来真珠業界の養殖部門、加工部門、販売部門、輸出部門などの各分野でそれぞれに広報活動が行われていたものを統合一本化したもので、広報活動の強化対策である。運営の方針は、生産部門関係、流通部門関係、PR事業関係、マスコミ対策、そして官公庁、金融機関との対応作業など5つのセクションに部会を設け積極的に広報活動が行われる。

この広報委員会発会式は司会進行を中村友一氏(御影貿易・広報委員会副委員長)が行ない、まず、挨拶を日本真珠振興会会長本間利章氏(ミキモト社長)が、広報委員会設置を報告、祝辞は白浜仁吉(郵政大臣、森治(水産庁長官)、中西一郎(通産政務次官)の各氏が真珠業界の充実、発展を祝い、それを受けて、田崎俊作広報委員長(田崎真珠社長)が「真珠業界も従来の体質を改め、その気になればやれるのだという力を見せるべきである。幸いに本間振興会々長も積極的な支援体制を打ち出されているので業界の結束を固めるべきだ」と挨拶、石井一氏(衆院議員)が乾杯の音頭をとり、委員会の発足を祝った。

# ●朝比奈千足フレッシュコンサート 市民オーケストラ 誕生の第一歩



<上>朝比奈千足指揮フレッシュ・コンサート・オーケストラ  
<下左>拍手に答える朝比奈さん(右)とコンサート・マスター佐藤紀子さん  
<下右>祝賀会。宮崎辰夫市長もかけつけて。

テレビ番組に「オーケストラがやってきた」というのがあって、あれを見るたびに、何で神戸に市民オーケストラがないのだろうと、寂しく思ったものだ。「神戸にオーケストラがないのはおかしいよ」という声もよく聞いたものだが、ようやくこの四月に神戸市交響楽協会が発足(発起人/芥川也寸志、朝比奈隆、辻久子、石野信一、陳舜臣ら五十三人)、四月六日神戸文化大ホール、の朝比奈千足指揮のフレッシュ・コンサート(朝比奈千足指揮のフレッシュ・コンサート・オーケストラ)で産ぶ声をあげた。

このオーケストラはフレッシュ・コンサート一回の演奏のために、朝比奈さんの若い同志たちが馳せ参じて新設されたもので、二管編成五十人のメンバーからなる。アンコール曲を入れて五曲をこの日は演奏したが若い団員たちのフレッシュなエネルギーの、とても新鮮で気持ちの良いコンサートになった。

このコンサートを足がかりに団員七十五人、二管編成で朝比奈千足常任指揮の市民オーケストラの結成に取りかかり、近く団員募集、オーディションを行う予定。

神戸の町にオーケストラがやってくるのも、決して遠いはずではないなそう。

# 子どもは何を感じているか

橋本 明〈社団法人「家庭養護促進協会」事務局長〉



国際児童年のシンボルマーク

五月は児童福祉月間です。今月号ではこの春神戸文化ホールで行なわれた伊藤友宜氏の講演「子どもは何を感じているか」の要旨をまとめてみました。

私は個人として親子の相談業をやり始めて四年になります。今までにいろいろな家庭を訪ねて親子の問題を見つめてきました。

子ども、というものを一般概念でとらえて「子ども対大人」という議論がずいぶんよく行なわれますが、子どもも人間なのです。大人と同じようにこのうす汚れたような世の中で生きていかねばならないわけですから、子どもが何を感じているか、ということよりも人間が共に何を感じ合えるかということに焦点を合わせて話ができないかなあ、と思いつながらこの仕事をやってまいりました。

小さい時から子どもは子どもの要求を出す。親は親の



熱っぽく語る伊藤友宜氏（於・神戸文化ホール）

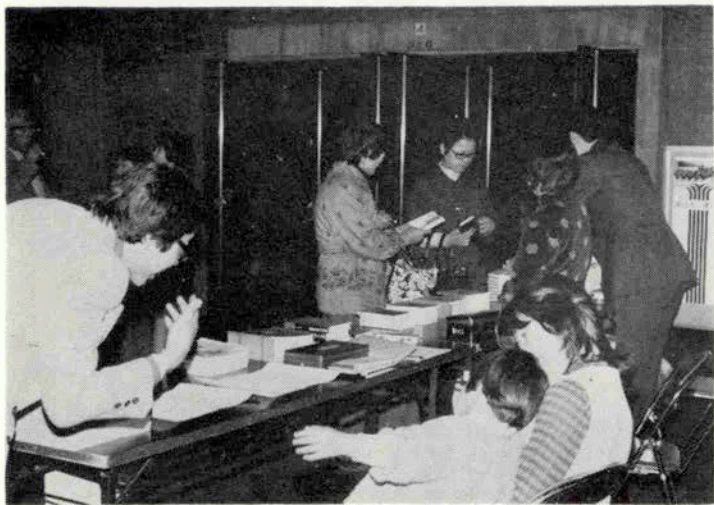
都合で自分の生活をいろいろ組み立てていく。そこで親と子は対立します。その対立を何とかして子どもにいうことをきかせ、親の筋道を歩かせてやらねば、と思うことが多いんです。一方には、それよりも子どもには子どもの道を歩かせてやる方がいいんだ、という議論もあります。そして子どもに好きなようにやらせているうちに、途中で方針を変えねばならなくなり、方針を変えても親と子が共感できないことも多いようです。

オモチャ屋へ行っても、子どものほしがるものを頭から拒否するのではなく、子どもといっしょにオモチャを楽しみながら、買いたいものを子どもが断念する気持ちを受け入れてやり、子どもといっしょにその気持ちを共感し合うことが大事なのです。

精神分析という学問を開いたフロイトは「人間には三つの心がある」といっています。「イド」という意のままに動きたいという欲望、「スーパーエゴ」といって、人に認めてもらいたいという超自我。そして「エゴ」という自我。言いかえればイドというのは我ままな気持ちで、スーパーエゴというのはエエかっこの気持ちです。この我ままな気持ちとエエかっこの気持ちを上手にバランスをとりながら自分というエゴを小さいうちからつけていかねばならないのです。このエゴを鍛えることが人間をつくっていくためにはどうしても必要だというのがフロイトの基本原理です。自我を鍛えるというのは、自分の二つの心を見つめる三つめの自分（エゴ）を鍛えるということです。そのためには一つめの我まま心と、エエかっこの二つめの心と、その両方が存分に働いてみ

ないといけないのです。そううえで両者のバランスをほかかっていくわけです。心の中でこの二つが葛藤する余地を与えてやらねばなりません。余地を与えてやるような話し合いや対話ができれば、子どもは子どもなりにその葛藤をのりこえるエゴというものを鍛えています。

ある心理学者は、親子の対話がうまくなるためにはまず夫婦の対話がうまくなる必要がある、といっています。対話がうまくいってない夫婦の場合は、両者が合理的な態度で自分の合理性を主張しているといわれます。夫婦の一日の会話をテープで録音し、分析してみるとどちらも理屈に合わないことは言っていない。にもかかわらずお互いに相手の言い分を認め合うことができずについ、言い争いの方向へいってしまふのです。いい対話が



国際児童年を迎えて「チャリティ映画と講演の集い」受付風景

できる夫婦の場合は理屈をのべ合うよりもまず相手の気持ちに共感しようとする。「今日、雨が降るかなあ」と一方がいうと、「さあ、降るでしょうかねえ」といって相手の気持ちに自分の気持ちを寄せていこうとする。そうすると、ワァー、と心がひろがっていくんですね。親と子の対話の場合も同じことが言えます。子どもの今の気持ちを受け入れて、受けとめてやること。ただ、気持は受け入れても要求を受け入れるか、受け入れないかは別のことで、それは人生を二〇年も三〇年も生きてきた親が決めることです。この区別をちゃんとつける習慣をつけられ、子どもは親に言いに行ったら即座に解決方法は示してくれないが、自分がいろいろ考える余地を与えてくれるぞ、と考えるようになります。子どもの気持を受け入れる前に親が先に口や手を出して、子どもが自己判断のつかないような状態に追い込んではいけません。

親と子がお互いに感情の受け渡しをするということが大事で、それをしている間にゆとりのある気分というのがでてくる。そうするとそのゆとりの中で相手の気持も考えなおそうかという方向づけがでてくる。今の子どもは飢えや本当の苦しみを知らない。本当のつらさを知らない。したがって本当の楽しみを知らない。小さい、ちよっとしたヒダを大事な喜びに変えていくという、親子もいっしょになってワァー、と喜び合うということがなければ、子ども自身が親の気持を考えようという気持にはならないのではないかと思います。子ども自身が自分で物を考えるように育てたいのなら、子ども自身とどこで共感し合えるか、ということを実際に考えなければならぬと思います。

★去る3月24日に神戸文化ホールで開きました「チャリティ映画と講演の集い」には多くのみなさまにご協力いただきましたことにあらためてさげすまします。収益金はすべて家庭を失った子どもたちに里親を求める運動に使わせていただきます。誌上をお借りして厚くお礼を申し上げます。

# 食うか、食われるか?!

筒井倶楽部 / 筒井康隆 F C / 岡本吉民とその仲間

人を食う話というのがありますね。食うとは①食物を

かんでのみこむ②くわえる、ついで③くいつく、かみつく④生活する、くらしをたてる⑤傷つける、そこなう⑥しっかりとつく、かじりつく⑦おかす、くい入る⑧受ける、被る⑨こばかにして存在を認めない⑩相手をたおす、負かす⑪演技などが立ちまざって共演者の影をうすくする⑫演劇用語でカットする⑬金、時間を費す(広辞苑より)の語意があるんだけど、今日はジーンズを食うをテーマに、それは①②③のどの食うになるかは神のみぞ知るということで三十才を直前にした女と話をすることになったんだな。割と言いいたいことを言うがにくめないというこのでの女たちと話すことは、僕、25才純情な青年にとっては心嬉しいことなんだなあ。何せ、男と女を意識しないもんね。

ここは、南京町とある中華料理屋。

「これ、春卷やな。夜食べたらナマキ。夏に食べたたら夏



巻か」と、僕。

「あんたが食べたならナツマケよ」

(とまあ、この女はいつもこういう風な眼で僕を見てるのです。本当はヒダリマキヨとでもいいたそうなお目で僕を見つつ美味そうに出てくるもの、出てくるものに、パクついているのである。)

「ジーンズの生造りなんか面白いな。刻まないかんけど繊維質が多くて、便秘気味の人にはいいぞ。」また、僕。

食事中に何事ぞとチラと一瞥を投げる彼女を横目に「けど、もうこのギャグ古いかな。ドジリーヌ姫の中でアポカドの天ぶらとか何とか出てきたもんな」

「ねえ、こんなに世間でジーンズが流行っているのに君はなぜ着ないの」

「皆が着とうからいややねん。ホラ、退社時のサラリーマンがどどつと出てくるオフィス街。あのまん中に立った時ストップモーションで同じもん見てるような気がするやろ、あれと一緒に。あ、それから汚れても目立たんというあの青も嫌いや。」

「けど、こうして中華料理なんかも汚ないところで食べたら本当に美味しいじゃない。食わず嫌いとかちがうの」(ああ、このデリカシー。店の人が前にいるのに平気でこういうことをいう、このでの女は)

「君の大好きな筒井さんはジーンズはいてもカッコよく着こなすでしょうね。何せあの人は文壇三美男の一人で





すもん。バクバク」

「……」(女は顔に弱いなあ。あの人は昭和九年生まれだから、それ相応の足の長さしかないの知らんのかいな)

「ジーンズがバッチヤステテコを締め出したということも考えられるわね」(このての女は突然こういうことを言い出す、そこが面白い)

「でも、ピンクレディの衣裳なんかジーンズだったら体中まっ赤っ赤になってしまふぞ。」と、僕。

「ジーンズが犯せない部分で何かしら。君を除いて……」

(やばい。女どもの目が光ってきた)

「パンティは駄目ね。水着はあるけどね」

「いっそジーンズを締め出すと考えたら？」

「ジーンズ狩り。」「鎖国ノ」申し遅れたがこの場合は男三人女三人がいる。以上は僕の連れの男たちが発言した。

「やっぱ青いのが出るやろな」と僕。

(ああ、また話題をもどしてしまった。)

「胃液は酸性だからリトマス試験紙のように色が変わるかもよ」とひとときわ若づくりの女がいう。

「これぞと思う男の人のジーンズを食べたら何とかなるとかね。そしてあなたのお好きな方のジーンズをお届けします。三日間お待ち下さい。ジーンズ急便なんて商売が大繁盛したりして」

「僕困るな、要望が多いだろうにジーンズはいてないから」(女どもは無視して僕が一番恐れている話題に入る)

うとしている気配が濃くなってきた。どっちかということのての女たちはSFよりSMが好きなんだから。」「ジーンズを脱いだら、反対に食べられていて下半身がなかつたりして」

「まあ、もったいない」

「SFってボルノシオンは少いわねえ」

「サルモネラ人間というのに壮大なボルノがあります」

「壮大なボルノって？」(これだから、もう)

「男と女が裸で踊ってるんですよ。ある惑星へ行くと全員がね。といってもフオークダンスみたいな踊りを。SFはスカットさわやかボルノなんですよ」(彼女らの期待外れを無視して僕は敢然と立ち上がって叫んだ。)

「君たち(同行の男どもに)箸の持ち方が変だね。日本の伝統的な型は一本は薬指と小指ではさんで、二本とも動かすというやつなんだ。今は普及型として一本は薬指にのせて動かさないとというのが流行ってますが……」

「あなたって、古いことよく知ってるわね。珍しい人ね。ジーンズが嫌いだって言うし……」

「嫌いだからしかたない……」

「でもジーンズはいた女の子は？」

「女の子は……(と、丁度食べてた海老がのどにひっかかった)好きだよ」

その時の僕の顔色は、汚れの目立たないあの青色だったと同行の男たちがあとでそつと言ってくれた。

## ★ジョイント情報広場

★リサイクルボードの使い方を存知でしょうか。

家の中を見わたしてみ下さい。昔、買ったきりで全然着ていない服や、いらなくなったけど充分使える大小様々なもの……どこのお宅にもあるはず。あなたがいらなくても欲しい人は必ずいます。そういう人はこのボードを利用して下さい。

★ジョイント3Fの利再来ボード。不用品を譲りたい時は

売りますカードに。欲しい品がある時は買いますカードに。内容をできるだけ詳しく書き込みボードに差し込んでください。新品の場合は買った時の値段の半額が売値の目安です。売買だけでなく情報の登録にも使えます。

★関西リサイクル運動市民の会の活動をジョイントがこんな形で手伝っています。エチケットを守ってよりよい生活のために。ピバ、ジーニングライフ。

詳しくは3Fの利再来ボードまで。正しい使い方を書いてパンフレットをご覧ください。



★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

＜神戸のファッション都市化をめざす＞

# K.F.S. news 44

事務局／神戸市生田区東町113-1

月刊神戸っ子内 TEL (078) 331-2246

＜3月例会＞

## 生活は創造

「ファッションは造ること」

講師／ジャン・メルオー神父  
＜カトリック教会＞

「ファッションは生活に深い関わりを持っています。造るということにおいてです。物を作るということ、つまり生活を作ることなんです」

3月の講師は、グルメとして名高いメルオー神父でした。予めKFSの会員はファッション関係の仕事の人が多くとお知らせしていたせいもあって、「ファッションは創造である」という第一声。そして「料理も創造です。フランス人はだから料理を大切にしている、日本人もそうですね」



「物を造るのは人間だけです」  
メルオー師

日本に住まわれて四半世紀。日本語の流暢さは勿論、日本の文化、世相への洞察は流石でした。たとえば、「パリの日本料理屋で一番感動（感心ではなく感動といわれたことに留意されたし）したのはウェイトレス嬢の手の動きです。日本人は功みな手の動きによる創造で有名だといってもいいでしょう」

最後に神戸の街について。

「自然に恵まれた街なので、他の者や物を受け入れる寛大さがあるんで

すよ。人の交わりを許す街ともいえるでしょう。その寛大さが創造力を養なっていくんですよね」とファッション都市への期待で終わりました。



メルオー師を囲んで出席者全員でパチリ！

### ●会員ニュース

市野木江充子さん

＜ニットデザイナー＞

KDC会員による合同コレクション  
5月29日(火)②2PM⑥6PM  
大阪府立労働センター大ホール

チケット 2000円

市野木江充子79春夏コレクション6月9日(土)  
神戸外国倶楽部(山本通4丁目)  
お問い合わせ☎331-6739 市野木ニッティングスタジオまで



浦野敏彦さん

＜アトリエCR＞

六甲のアトリエメルを閉じて7ヶ月、新たにアトリエCRを出発した浦野さんです。ニットだけでなく、布の素材も使っていきたいと意欲満々。6月にはアトリエCR第1回の展示会も予定しています。

アトリエCR／舞合区磯上通4丁目2-20  
神戸ビル415号 ☎252-0303



谷川文子さん

＜アトリエ・ふみこ＞

2月3月とアメリカ、ヨーロッパを旅行。アメリカとロンドン、パリのファッションの違い、それぞれの国の個性が面白かったという葉書きが届きました。西宮市北口町4-9アトリエ・ふみこ

### ●5月マンスリーサロン

講師／生田神社福田義文宮司  
テーマ／お祭りとコミュニティ  
日時／5月10日(木)7時より  
場所／生田神社会館  
会費／3000円(和食お弁当付)  
神戸まつりに先がけて、日本のまつりを考えてみましょう。祭りの日の神社の境内の店は大人になっても楽しいもの、そんなことを考えながら……。

### ●KFSファッションショー

第1回KFSファッションショー  
9月30日(日) 風月堂地下ホール  
参加ご希望の方は5月31日迄にお申し込み下さい。



きもの工芸

# おんがら屋

神戸

本部・仕入部  
 本 店 神戸市東灘区青木五丁目一五〇一五二九〇(代)  
 さんちか店 神戸市生田区三宮町二丁目一五二九八(代)  
 神戸市生田区三宮町一丁目一七〇〇

東京

銀座コア店 東京都中央区銀座五丁目八二〇  
 (四階きものコア)  
 銀座メルサ店 東京都中央区銀座五丁目七二二  
 (六階和装街)  
 渋谷東急店 東京都渋谷区道玄坂二丁目二四一  
 (五階呉服売場)  
 日本橋東急店 東京都中央区日本橋通一丁目九二  
 (四階呉服売場)

電話 〇三―五七三―五二九八(代)  
 電話 〇三―五七四―八〇六五(直)  
 電話 〇三―四七七―三四〇九(直)  
 電話 〇三―二二一―〇五一(代)  
 (内線一九四)



素材いろいろ、クリーニングもいろいろ  
 ファッション・クリーニング

あなたのファッションをFRESH UP!

**ニシシマ**

神戸市東灘区北田町1番1078051-2440(代)

山手店 三宮店 熊内店 宝塚店

ハイセンスの紳士服で  
最高のおしゃれを



三恵洋服店

神戸・元町4丁目 ☎(078)341-7290

●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊どうぞ！  
欧米の心身障害者を訪ねて

# 世界の福祉施設

橋本 明著 〓社団法人家庭養護促進協会事務局長

〓カラー八ページ、本文三二〇ページ、定価 一〇〇〇円〓 送料 二〇〇円

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。

神戸市生田区東町一三の一 大神ビル七階 ☎(三三三)二二四六

振替口座 神戸四五一九六